

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	胃癌患者における胃切除術後合併症リスクの予測に適した栄養評価法の検討 (B24-089)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部上部消化管外科学 主任教授 比企 直樹
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・ 背景・目的	<p>胃切除前の栄養状態が悪い場合、術後合併症のリスクが高くなることが知られています。そのため、術前の栄養障害を適切に検出し対処することは、手術を安全に行い早期の回復を促すために、とても重要です。</p> <p>手術前の栄養状態を評価する方法には複数あり、体重減少や体格、病態、血液検査値など、様々な指標を参考としながら判断しています。しかし、これらの様々な指標のうち、どの栄養評価法が術後合併症リスクの予測に最も適しているかは、明らかになっていません。</p> <p>そこで、過去に胃癌に対して胃切除を施行された患者さんのデータをもとに、術後合併症と様々な栄養評価法との関連を検証し、今後の診療に役立てたいと考えています。</p>
調査データ 該当期間	2023年6月1日～2024年9月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2023年7月1日～2024年6月30日までに胃癌で当院に入院され、胃切除術を施行された方
研究の方法 (使用する試料等)	2023年6月1日～2024年9月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の他の研究機関 への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、発生しません。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:北里大学病院 栄養部 係長 担当者:佐藤 由美(サトウ ユミ) 電 話:042-778-8105</p>
備 考	